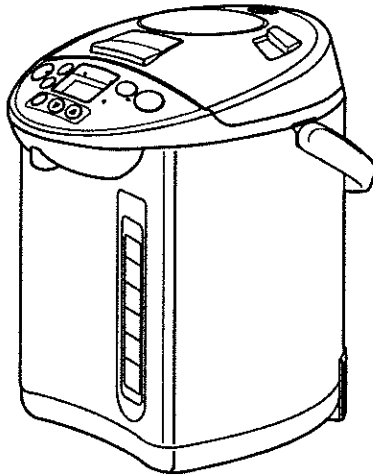
品番
PVF-A型
PVF-S型

タイガー VE電気まほうびん〈とく子さん®〉（コードレスタイプ）

取扱説明書

〈保証書つき〉

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

点検・修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL　（　）

電動給湯時のお願い

沸とう直後に電動給湯を行うとお湯が出にくくなることがあります。その場合は、蒸気に注意して、一度上ぶたを開けていただくと直ります。

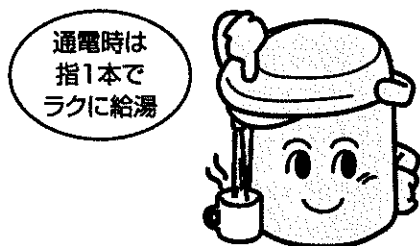
もくじ

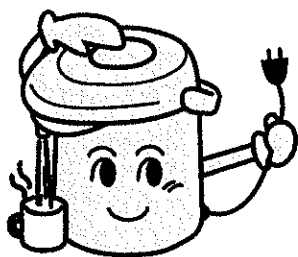
日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません。）

便利な機能の紹介

指1本で、ラクにお湯が注げる

電動給湯〈12ページ〉

通電時のみ

電源コードを抜いても、お湯が注げる

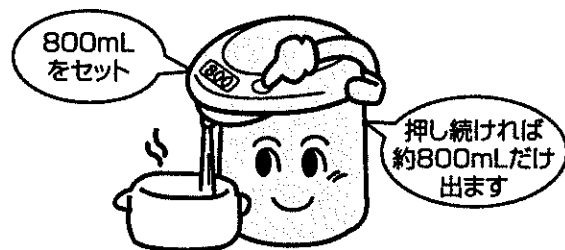
エアー給湯〈13ページ〉

電源コードの届かない所やコンセントのない所でも、手軽に持ち運んでお使いいただけます。

※電源コードを抜くと時間経過とともに湯温が冷めていきますのでご注意ください。

給水お知らせ〈16ページ〉

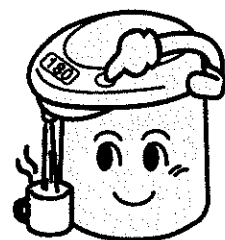
お湯の量がおよそ半分以下になると給水のお知らせをブザーとバックライト水量計および給水ランプで行います。

給湯する前に使いたい量をセットすれば その量だけ給湯できる

計量カップ機能（電動給湯時）〈14ページ〉

約100mLから約990mLまで10mL単位でお湯の量がセットできます。給湯キーを押し続けるとセットした量だけ給湯されて止まります。調理時などに使いたい量だけ注げる便利な機能です。

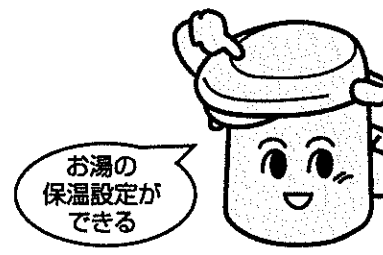
※給湯量は目安としてお知らせします。
湯量や注ぎ方によって多少の誤差がある場合があります。

給湯中の量が確認できる

給湯量表示機能（電動給湯時）〈12ページ〉

約10mLから約990mLまで10mL単位で給湯中の量が表示されます。計量カップ機能をセットしわすれたときでもどれくらいの量を給湯したかがわかります。

※給湯量は目安としてお知らせします。
湯量や注ぎ方によって多少の誤差がある場合があります。

お湯の保温設定が「98保温」「90保温」「まほうびん保温」の3段階から選べる

保温選択〈16ページ〉

98保温	約98℃に保温します。カップめん、コーヒー、紅茶、番茶などを作るときに最適です。
90保温	約90℃に保温します。98保温に比べ、保温時の電気代が節約できます。
まほうびん保温	沸とう後、ヒーターへの通電を切り、Wステンレス製まほうびんの高真空2重瓶によって保温します。保温時の電気代が節約できます。

（保温温度は水量・満水、室温・20℃、電圧・交流100Vの場合）

沸とう時間を延長させて、カルキのぬけたおいしいお湯がわかせる

カルキぬき〈18ページ〉

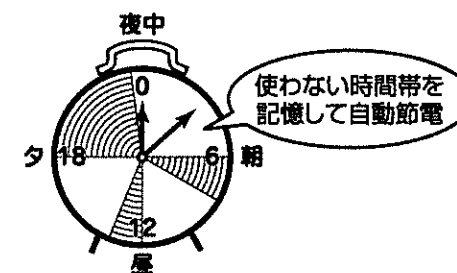
保温中のお湯を、再び沸とうさせる

再沸とう〈18ページ〉

蒸気の出を省いて再沸とうしますので電気代が節約できる「節約再沸とう」です。

※水をつぎ足した場合は蒸気が出る再沸とうになります。

使わないときは自動オフする くらしに合わせた省エネコース

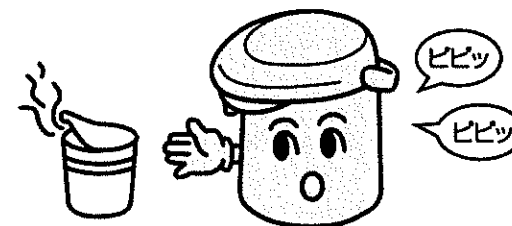
とく子さんコース〈19ページ〉

とく子さんコースを選べば、過去の給湯状況を記憶して2日目からは使わない（給湯しない）時間帯は自動的にヒーターへの通電を切るまほうびん保温に切り換わります。
使う時間帯だけお湯を沸かして保温するので効果的に電気代が節約できます。

しばらく使わないときにセットすれば 節電できる

節電タイマー〈21ページ〉

設定時間終了の1時間前から湯わかしを始め、終了後にはお湯が使えます。電気代が節約できます。3時間から12時間まで1時間単位でセットが可能です。

セットすればお料理などの 出来上がりをブザーでお知らせする

キッチンタイマー〈22ページ〉

カップめんの食べごろやパスタのゆで上がり時間、煮込み料理など、用途に応じて時間をセットすると、ブザーが鳴ってお知らせします。
1分から60分まで1分単位でセットが可能です。

便利な機能の紹介

内容器の落ちにくい汚れが洗浄できる

クエン酸洗浄機能〈23・24ページ〉

お湯の残量が見やすく、
お知らせ機能もついた

バックライト水量計

状況に応じて水量表示計が点灯または点滅してお知らせします。

点灯
- ●プラグ差し込み時の2分間（水からの湯わかし時）
- ●通常使用の保温時（まほうびん保温は1/2の光量）
- ●とく子さんコース選択時の使用時間帯（1/2の光量）
- ●とく子さんコース選択時の未使用時間帯のロック解除時、給湯時および給湯後の2分間
- ●とく子さんコース選択時の未使用時間帯の計量カップ機能設定中、給湯中および給湯後の2分間

点滅
- ●沸とう終了1分前から沸とうお知らせ
- ※カルキぬき選択時は2分前から点滅
- ●クエン酸洗浄中と終了お知らせ
- ●キッチンタイマー終了時
- ●給水お知らせ
- ●その他の異常検知時（はやく点滅）
- ※水量表示計の点灯を常時消灯しておくように切り換えることもできます。（9ページ参照）

以下の時は消灯しています。
- ●水からの湯わかしでプラグ差し込み後の2分後
- ●再沸とうセット時および保温中からのカルキぬきセット時（湯温によりすぐに点滅に切り換わる場合があります。）
- ●節電タイマー中
- ●とく子さんコース選択時の未使用時間帯

見やすくお知らせする

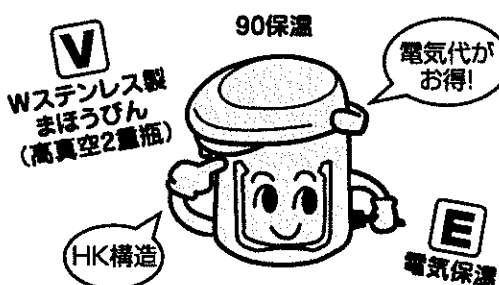
液晶表示

- ●現在のお湯の温度（5℃きざみで表示します。）
- ●保温設定の温度
- ●沸くまでの残時間（目安としてお知らせします。）
- ●給湯量表示（目安としてお知らせします。）
- ●計量カップ機能の給湯量表示（目安としてお知らせします。）
- ●キッチンタイマーの残時間
- ●節電タイマーの残時間
- ●クエン酸洗浄中のお知らせ、残時間
- ●エラー表示

省エネVE※保温

Wステンレス製まほうびんの高真空2重瓶と電気保温を併用した経済的な保温方式。「90保温」との組み合わせで、さらに保温時の電気代が節約できます。

（※VEはVacuum（真空）+Electric（電気）の略称です。）

90保温
V Wステンレス製まほうびん（高真空2重瓶）
電気代がお得！
HK構造
E 電気保温

HK構造の内容器

内容器の口部を絞って（HK構造）上へ逃げる熱を逃げにくくした省エネ構造です。

説明マークについて

本文中に記載されている説明マークは、下記の意味があります。

お願い　おいしいお湯をわかすためのポイントと、商品を末永くお使いいただくためのお願いを記載しています。

音　操作の確認音や、操作が適切でないときのお知らせ音、ヒーターやマイコンが作動する音などについて説明しています。

※キーを押したときの作動音やお知らせ音は、文中の説明図に記載しています。

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

（強制・指示）　（差し込みプラグを抜く）

⚠警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

電源コードは傷んだまま使用しない。
（傷つける・無理に曲げる・引っぱる・ねじる・たばねる・高温部に近づける・重いものを載せる・挟み込む・加工するなど）
電源コードが破損し、火災・感電の原因。

ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグ（磁石式）の先端にピン等金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないように注意すること。
感電やけがの原因。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。

やけど・感電・けがをするおそれ。

⚠警告

満水目盛以上の水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。上ぶたを持って移動しない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

ポットを転倒させない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。

上ぶたを確実に閉める。
倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

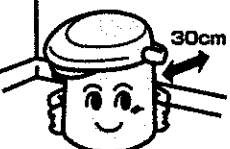
蒸気孔に手をふれない。
やけどをするおそれ。
特に乳幼児には、さわらせないようにすること。

上ぶたを勢いよく閉めない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

蒸気孔をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれ。

水以外のものをわかさない。
お茶、牛乳、酒、ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使用すると、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。
また、こげつき、腐食、故障、フッ素加工のはがれの原因。

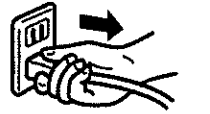
氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

上ぶたをつけたまま、残り湯を捨てない。
上ぶたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。
（残り湯の捨てかたは、17ページの「6.使い終わったら」を参照）

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

⚠注意

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使用しない。
火災の原因。

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意すること。

1 安全上のご注意

⚠注意

この製品専用の電源コード以外は使用しない。電源コードを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

差し込みプラグを抜くときは、必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電や、ショートして発火するおそれ。

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。
やけどの原因。

上ぶたを開けるときに出る蒸気にふれない。
やけどの原因。

湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

給湯中に本体を回さない。
お湯が飛び散り、やけどのおそれ。

本体を持ち運ぶときは、上ぶたの開閉レバーにふれない。
上ぶたが開いてけがややけどをするおそれ。

お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。

お願い

- 水のかかりやすい場所では使用しない。丸洗いはしない。底部はぬらさない。蛇口から直接水を入れない。
  本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

- タコ足配線はしない。
  火災のおそれ。

- 熱に弱いテーブルなどの上に置かない。
  テーブル、敷物などが変色、変形するおそれ。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

- 直射日光が長時間あたる場所では使用しない。
  本体が熱くなるなど、故障の原因。
- 蒸気孔をフキンなどでふさがない。
  上ぶたの変形の原因。

- 火気の近くでは使用しない。
  変形・故障の原因。
- カラだきをしない。
  水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。
- 本体をさかさにしない。
  底部が水にぬれていると、底部から水が入り、故障の原因。
- 備長炭などの炭を入れて使用しない。
  故障、フッ素加工のはがれの原因。

各部のなまえ

●開閉レバー

●押し板

●蒸気孔

●注意シール
安全に関する重要な内容を記載していますので、はがさないでください。

●注意シール
安全に関する重要な内容を記載していますので、はがさないでください。

●押し板ストッパー

●注ぎ口

●とっ手

●水量表示計（バックライト水量計）
状況に応じて点灯または点滅します。

（図は4.0Lタイプ、点灯中の場合）

水位ライン

給水マーク
ここまで減る前に水を入れてください。

●プラグ差し込み口

●メッシュフィルター
内容器の底の穴にセットされています。確実に差し込まれているか確認をして使用してください。

●底部
360度回転します。
プラグ差し込み口も同時に回ります。

●上ぶた

●ふたパッキン

●湯捨て位置

●内容器

●給湯キー

●満水目盛

●電源コード

差し込みプラグ
（コンセントに差し込む）

器具用プラグ
（プラグ差し込み口に差し込む）

●操作・表示部

沸とう/カルキぬきランプ（赤）

液晶表示部

保温ランプ（黄）

ロック解除ランプ（赤）

とく子さんコースランプ（緑）

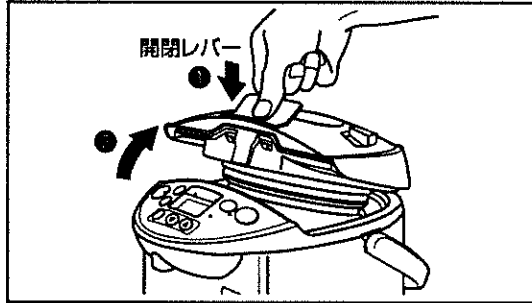
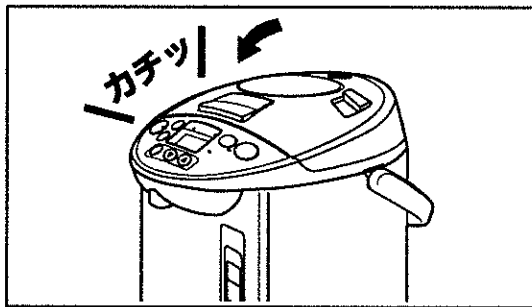
給水ランプ（赤）

数値変更キー

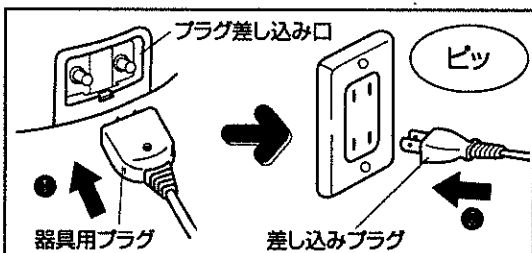
VE VacuumElectric
とく子さん コース タイマー
再沸とう
沸とう 保温
98 90 まほうびん
温度 90
ロック解除
給湯
選択
給水
計量 キッチンタイマー
TIGER

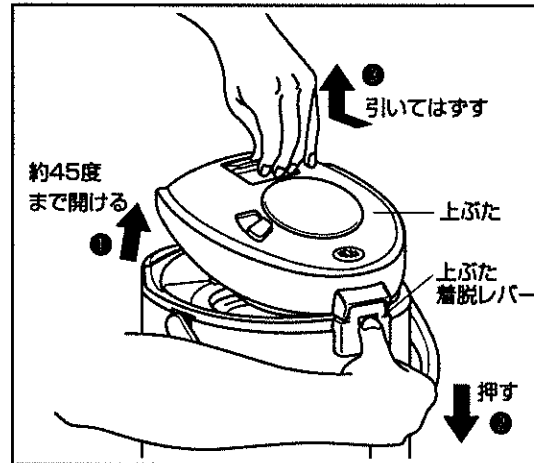
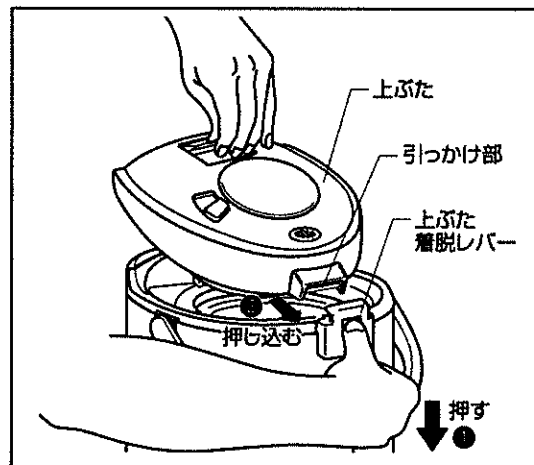
各部の使いかた

●上ぶたの開けかた・閉めかた

開けるときは、開閉レバー前側を親指で押してつまみあげ、上ぶたを開けてください。

閉めるときは、「カチッ」と音がするまで、上ぶたを閉めてください。

●上ぶたが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が多量に出て、やけどをするおそれがあります。

●電源コードの接続のしかた

電源コードの器具用プラグは、本体のプラグ差し込み口に差し込んでください。
器具用プラグには、磁石がついています。
電源コードの差し込みプラグは、コンセントに差し込んでください。

●上ぶたのはずしかた・取りつけかた

はずすときは、上ぶたを約45度の位置まで開け、上ぶた着脱レバーを押しながら、上ぶたを注ぎ口の方向に引いてはずしてください。

取りつけるときは、上ぶた着脱レバーを押しながら、上ぶたの引っかけ部を押し込んでください。

●操作キーの押しかた

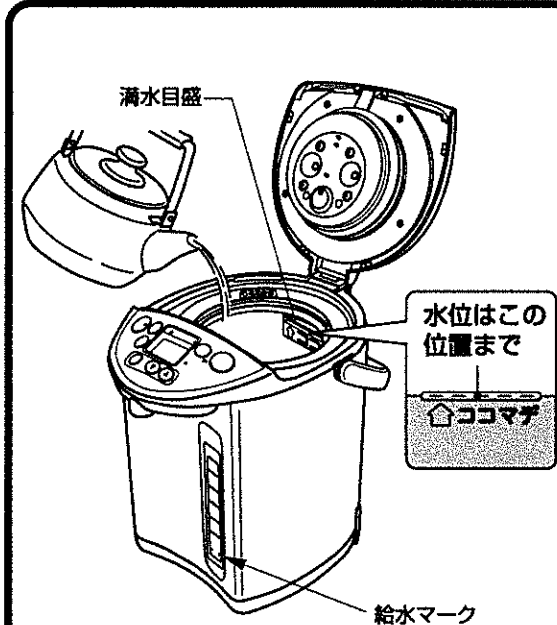
操作キーは、指の腹でしっかり押し、作動音（ピッ、ピッピッなど）を確認してください。

●水量表示計の常時消灯のしかた

数値変更 キーの ▼ と ▲ を同時に約3秒間押し続けてください。状況に応じて点灯、点滅させるようにするときは、再度同時に押し続けてください。

3 お湯のわかしかた

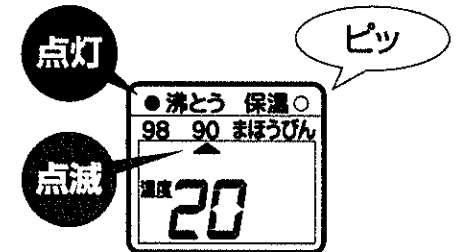
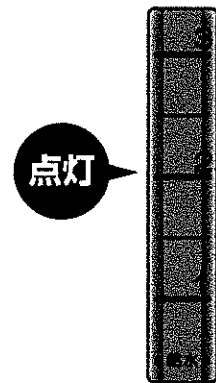
はじめてお使いになるときやしばらく保管されていたときは、一度手順どおりにお湯をわかしてください。電動給湯で注ぎそのお湯を捨ててからお使いください。

1 上ぶたを開け、やかんなどで水を入れる。

水は、「給水マーク」以上から「満水目盛」までの間に入れてください。

●「満水目盛」以上に水を入れないでください。お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。
●「給水マーク」以下の水でわかさないでください。カラだきによる内容器の変色、故障のおそれがあります。
●水道の蛇口から直接水を入れないでください。あふれるとショートや感電の原因になります。
●水を操作・表示部にかけないでください。感電や故障の原因になります。

●上ぶたを開閉するとき、「カラカラ」と音がしますが、万一転倒した場合にお湯の流出を防止する弁の音で異常ではありません。

2 上ぶたを閉める。
（9ページ参照）

3 電源コードを接続する。
（9ページ参照）

（水温20℃の場合の表示）

（4.0Lタイプ、満水の場合）

「ピッ」と音がして、沸とう/カルキぬきランプが点灯し、▲マークが90保温位置で点滅します。
湯わかしが開始されます。
通電後2分間は水量表示計が点灯し、その後消灯します。

●湯わかし中に「ゴー」と音がしますが、湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。また、内容器が汚れていますと、特に音が大きくなりますので、内容器をクエン酸で洗浄してください。（23・24ページ参照）

カラだき報知機能について
●内容器に水が入っていない状態やごく少量の水量でお湯をわかしますと、「ピピピ…」と警告音がし、ランプと液晶表示および水量表示計の点滅でお知らせしてヒーターへの通電がとまります。（27ページ参照）

4 「98保温」または「まほうびん保温」にするときは、選択キーで選択する。
（16ページ参照）

5 カルキぬきをするときは、再沸とうキーで選択する。
（18ページ参照）

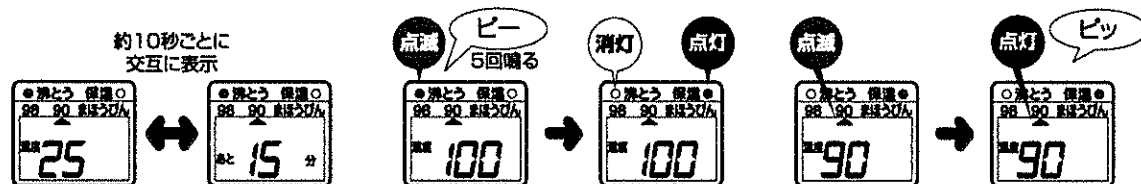
6 節電タイマーにセットするときは、とく子さんコース/タイマーキーで選択する。
（21ページ参照）

「湯わかし」から「沸とう」、「90保温（約90℃）」になるまでの作動について

1 湯わかし中は……
沸とうするまでの残時間と現在のお湯の温度（5℃きざみ）とを約10秒ごとに交互に表示します。
※沸とうするまでの残時間表示が出始めるタイミングは水量、水温によって異なります。

2 沸とうすると……
「ピー、ピー…」と5回音がして、沸とう/カルキぬきランプが点灯から点滅に変わった後、消灯して保温ランプが点灯します。
（沸とうするまでの時間は28ページ参照）

3 90保温（約90℃）になると……
90保温位置の▲マークが点滅から点灯に変わります。
（90℃になるまでの時間は28ページ参照）

約10秒ごとに交互に表示

●沸とう終了の約1分前から水量表示計が点滅して「そろそろ沸とう」のお知らせをします。沸とう後は点灯し続けます。
●湯わかし中や直後は、上ぶたを勢いよく開閉したり、お湯を注いだりしないでください。お湯が飛び散ったり、蒸気孔から蒸気がふき出して、やけどをするおそれがあります。
●蒸気孔から出る蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。

4 お湯の注ぎかた

電動給湯でのお湯の注ぎかた

「計量カップ機能」を使って給湯するときは計量/キッチンタイマーキーで選択して行ってください。〈14ページ参照〉

1 ロック解除キーを1回押す。

「ピッ」と音がして、ロック解除ランプが点灯し、「給湯量0」の表示になります。

2 湯を入れる容器を注ぎ口に合わせ、給湯キーを押す。

（約180mL給湯中の場合）
押している間は、作動音がして、注ぎ口からお湯が出ます。約10mLから約990mLまで10mL単位で表示が進んで給湯中の量をお知らせします。押し続けて「給湯量990」になると「給湯量0」にもどって表示が進みます。
※給湯量は目安として表示しますので、注がれている量に注意しながら給湯してください。

給湯中に一時中断して給湯キーをはなした場合の作動について

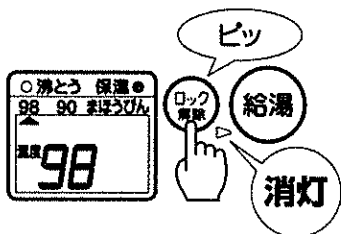
1 給湯キーを離して約2秒以内に再度押すと……
先に注いだ給湯量に加算されて給湯されます。

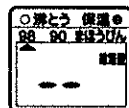
約2秒以内

2 給湯キーを離して約2秒経過してから再度押すと……
先に注いだ給湯量が消えて加算されずに「給湯量0」から始まります。

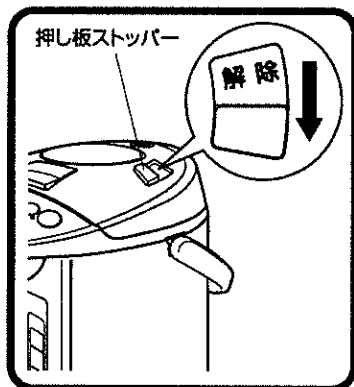
約2秒経過

電動給湯でのお湯の注ぎかた(つづき)

3 ロック解除キーを1回押す。

「ピッ」と音がして、ロック解除ランプが消灯します。
給湯キーがロックされ、押しても電動給湯ができません。
表示は現在のお湯の温度の表示にもどります。注いだ容器は注ぎ口からお湯が途切れるのを確認してから離してください。

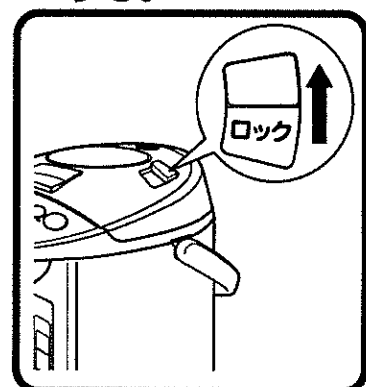
※プラグをはずすと、電動給湯ができません。
※沸とう直後に電動給湯を行うと、お湯が出にくくなることがあります。その場合は、蒸気に注意して一度上ぶたを開けると直ります。また内容器や内部のポンプが汚れていますと、お湯が出にくくなることがありますので、クエン酸洗浄を行ってください。(23・24ページ参照)
沸とう直後やお湯がなくなってきたときに給湯を行うと右図のように表示される場合がありますが故障ではありません。
※給湯量は目安としてお知らせします。湯量や注ぎ方によって多少の誤差がある場合があります。
※ 給湯 キーを押して電動給湯した後、ロック解除 キーを押さなくても約20秒後にロック解除ランプが消灯して、電動給湯が「自動ロック」されます。

エアー給湯でのお湯の注ぎかた

エアー給湯では「給湯量表示機能」または「計量カップ機能」を使った給湯量の表示をしません。

1 押し板ストッパーを「解除」位置にする。

2 湯を入れる容器を注ぎ口に合わせ、押し板をゆっくり押す。

押している間は、注ぎ口からお湯が出ます。お湯が途切れるのを確認してから容器を注ぎ口から離してください。

3 押し板ストッパーを「ロック」位置にする。

お願い

●お湯を注ぐとき、本体が回らないように注意してください。お湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。
●お湯の量が少なくなると、注ぐときにお湯が勢いよく出ることがありますので、注意してください。
●電動給湯とエアー給湯を同時に使わないでください。やけどや故障の原因になります。
※お湯がさめたりお湯の量が減ってくると、エアー給湯したときに出る量が減ってきます。また勢いよく押し板を押してエアー給湯しようとするとお湯が出ない場合がありますが故障ではありません。

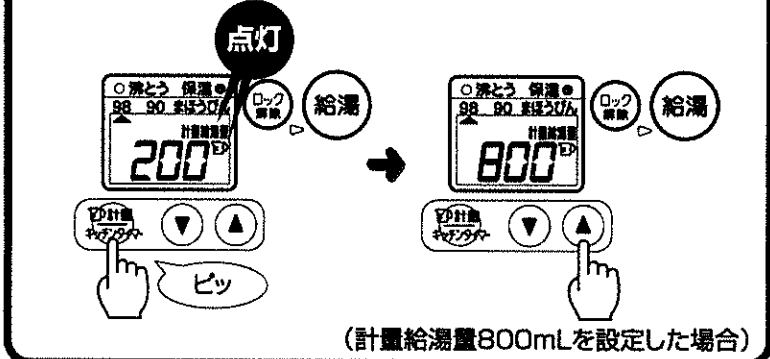
計量カップ機能の使いかた（電動給湯時）

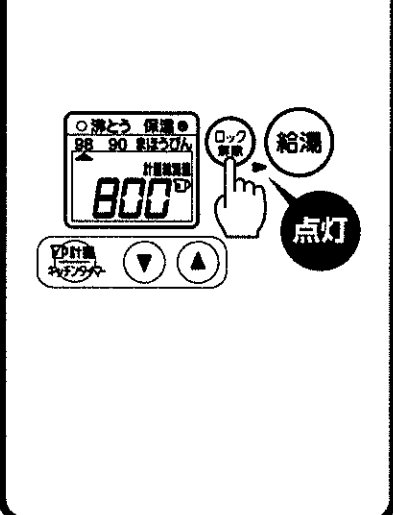
「計量カップ機能」は電動給湯で給湯を行うときのみに使えます。エアー給湯時は表示をしません。

給湯する前に使いたい量をセットすればその量だけ給湯できます。
約100mLから約990mLまで約10mL単位で設定できる、ムダの少ない機能です。

1 [計量/キッチンタイマー] キーを1回押す。

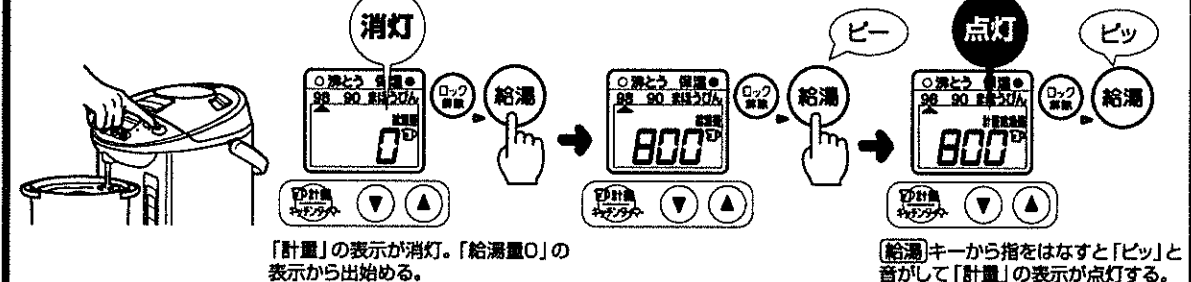
「ピッ」と音がして、「計量給湯量200」と マークが点灯します。
計量給湯したい量を[数値変更]キーの▼または▲を押して設定します。
※[数値変更]キーは一回押すごとに10mLずつ、押し続けると100mLずつ切り換わります。
※計量カップ機能とキッチンタイマーは操作キーを兼用していますので、操作時は表示を確認しながら行ってください。

（計量給湯量800mLを設定した場合）

2 [ロック解除] キーを1回押す。

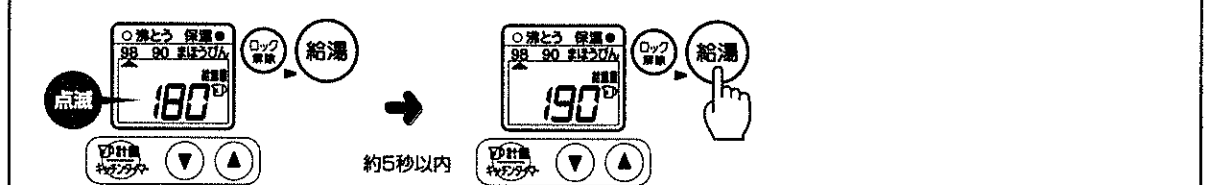
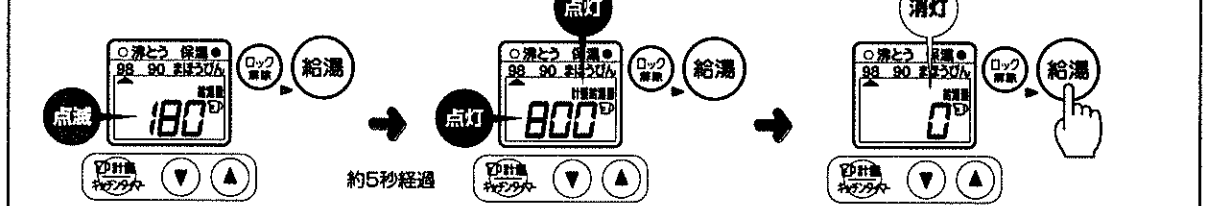
「ピッ」と音がして、
ロック解除ランプが点灯します。

3 湯を入れる容器を注ぎ口に合わせ [給湯] キーを押す。

押して計量給湯を行っている間は、作動音がして、注ぎ口からお湯が出ます。10mL単位で表示が進んで給湯中の量をお知らせします。
設定した量のお湯が出終わると「ピー」と音がして[給湯]キーを押し続けていても給湯がとまります。

「計量」の表示が消灯。「給湯量0」の表示から出始める。

[給湯]キーから指をはなすと「ピッ」と音がして「計量」の表示が点灯する。

※計量給湯後、くり返し同じ量を給湯する場合は約20秒以内に[給湯]キーを押せば再度設定をしなくても同じ量を計量給湯することができます。[ロック解除]キーを押すと計量給湯の設定は解除されます。
※給湯量は目安として表示しますので、注がれている量に注意しながら給湯してください。

計量給湯中に一時中断して[給湯]キーをはなした場合の作動について

1 [給湯]キーを離して約5秒以内に再度押すと…
先に注いだ給湯量に加算されて残りの量が給湯されます。

2 [給湯]キーを離して約5秒経過してから再度押すと…
先に注いだ給湯量が消えて、はじめに設定した計量給湯量の表示にもどり、加算されずに「給湯量0」から始まります。

4 [ロック解除]キーを1回押す。

「ピッ」と音がして、ロック解除ランプが消灯します。
[給湯]キーがロックされ、押しても電動給湯ができません。
表示は現在のお湯の温度の表示にもどります。注いだ容器は注ぎ口からお湯が途切れるのを確認してから離してください。
※[給湯]キーを押して給湯を行った後、[ロック解除]キーを押さなくても約20秒後にロック解除ランプが消灯して電動給湯が「自動ロック」され、計量給湯の設定も解除されます。

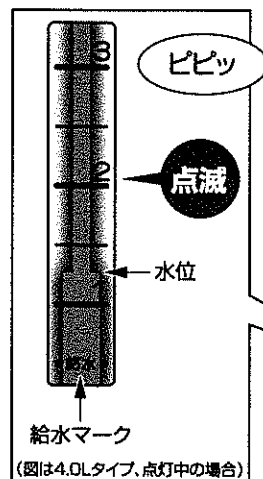
※給湯量は目安としてお知らせします。湯量や注ぎ方によって多少の誤差がある場合があります。
●沸とう直後の約3分間は計量カップ機能が使えません。これは沸とう直後はお湯が出にくくなることがあるため、計量給湯を行っても正しい量が給湯できない場合があるためです。
沸とう直後の約3分間に[計量/キッチンタイマー]キーを1回押すと計量給湯ができない事を表示します。

（あと3分計量給湯ができない表示）

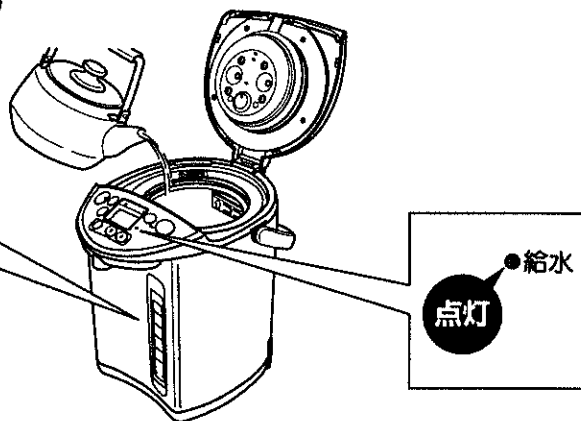
給水お知らせ

お湯の量がおよそ半分以下になると、ブザーが「ピピッ」と鳴り、給水ランプが点灯、水量表示計が点滅して給水のお知らせをします。上ぶたを開け、早めに水を入れてください。自動的に湯わかしが開始されます。

※使いかたによって給水お知らせ時のお湯の残量は変わる場合があります。

※給水ランプが点灯し、水量表示計が点滅しても、通常通りお湯は保温されていますので、そのままご使用いただけます。

お湯が給水マークの近くまで減ったときは…

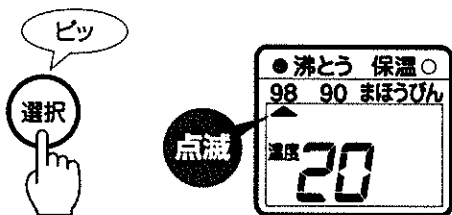
水量表示計の水位が給水マークに近づいてきたら、上ぶたを開け、必ず水を入れてください。
自動的に湯わかしが開始されます。
※水を入れずにそのまま放置するとカラだきとなり、故障の原因となります。

(図は4.0Lタイプ、点灯中の場合)

- ●約80℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしが開始されません。少しさめたお湯か水を入れてください。または、再沸とうさせてください。(再沸とうのしかたは18ページ参照)
- ●上ぶたを開けるときは、蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。

5 保温について

お湯の保温温度が約98℃(98保温)、約90℃(90保温)、まほうびん保温の3段階に選べます。
本体に通電されると、始めに▲マークが90保温位置で点滅し、「90保温」に設定されます。

保温選択のしかた

[選択]キーを1回押すごとに「ピッ」と音がして、液晶表示部の▲マークが移動します。
設定する保温の位置で▲マークを点滅させてください。

(水温20℃、98保温を選択した場合の表示)

※保温中の温度により高い設定温度に切り替えたときは、湯温により沸とうする場合があります。

90保温に設定した場合

沸とう後、約90℃になるまで▲マークが90保温位置で点滅します。お湯が約90℃になると、「ピッ」と音がして、▲マークが点灯に変わります。(90保温になるまでの時間の目安は28ページ参照)

98保温に設定した場合

沸とう後、約98℃の高温に保ち続けます。

●設定中にプラグがはずれると、再度プラグを接続したとき、「90保温」に設定されますので、再設定してください。

まほうびん保温に設定した場合

沸とう後、ヒーターへの通電が切れ、Wステンレス製まほうびんによって保温します。
プラグを抜いてもWステンレス製まほうびんによって保温できます。

沸とうした後の湯温の目安

	2時間後	4時間後	6時間後
3.0Lタイプ	約91℃以上	約82℃以上	約75℃以上
4.0Lタイプ	約92℃以上	約85℃以上	約78℃以上

(水量・満水、室温・20℃、参考値)

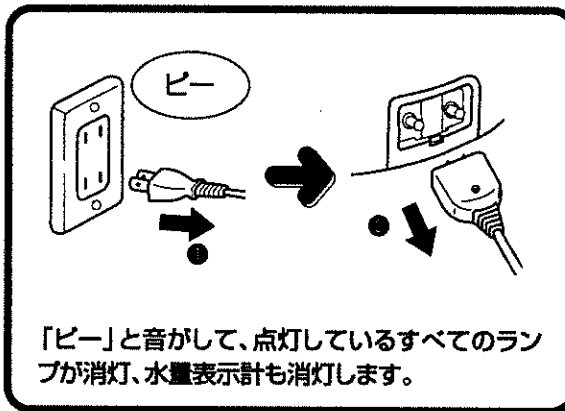
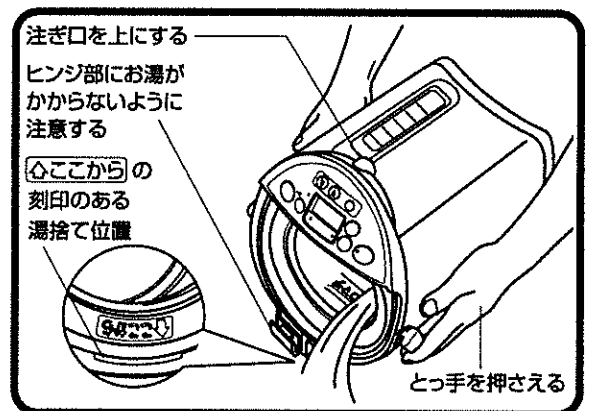
※温度は5℃きざみで表示していますので、表示の温度と湯温は異なる場合があります。

- ●時間の経過とともに、湯温は徐々に下がります。またお湯の量が少ないときは湯温が早く下がります。
- ●水をつぎ足すと、自動的に湯わかしを行います。
- ●「まほうびん保温」中でも、通電状態であれば、電動給湯など他の機能が使えます。
- ●水量表示計は通常の約1/2の光量で点灯します。

●設定中にプラグがはずれると、再度プラグを接続したとき、「90保温」に設定されますので、再設定してください。

6 使い終わったら

1 電源コードのプラグをはずす。

「ピー」と音がして、点灯しているすべてのランプが消灯、水量表示計も消灯します。

2 上ぶたをはずす。
(はずしかたは9ページ参照)

3 下図の要領で、残り湯を捨てる。

4 上ぶたを取りつける。
(取りつけかたは9ページ参照)

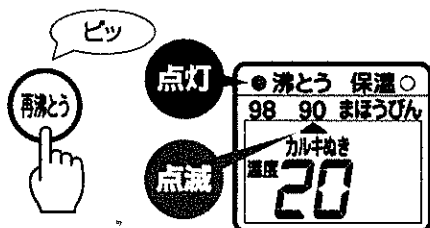
- ●残り湯は放置しないでください。内容器の変色やにおいの原因になります。
- ●メッシュフィルターは、こまめに水洗いすると目づまりが少なくなります。
- ●上ぶたをつけたままで、残り湯を捨てないでください。お湯がかかって、やけどをするおそれがあります。
- ●注ぎ口を下にしたり、ヒンジ部から残り湯を捨てると、お湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因になります。
- ●メッシュフィルターの取りつけが不充分ですと、残り湯を捨てたときに、抜け落ちることがありますのでご注意ください。

7 カルキぬきのしかた

カルキぬきは、沸とう中の時間を延長して、お湯のカルキ臭を減らす機能です。

水からの湯わかし時にカルキぬきをする場合

電源コードの接続(通電)後、[再沸とう]キーを1回押してください。「ピッ」と音がして、沸とう/カルキぬきランプが点灯、水量表示計が消灯し、カルキぬきの設定でお湯をわかします。

- ●沸とうしてからカルキぬきが終了するまでの残時間と現在のお湯の温度(5℃きざみ)とを約10秒ごとに交互に表示します。
- ●カルキぬき終了の約2分前から水量表示計が点滅して、カルキぬき終了後は点灯し続けます。

(水温20℃、90保温を選択した場合の表示)

保温時にカルキぬきをする場合

[再沸とう]キーを2回押してください。「ピッ」「ピッ」と音がして、沸とう/カルキぬきランプが点灯し、カルキぬきの設定で再沸とうさせます。
終了すると、「ピー、ピー…」と5回音がして知らせます。

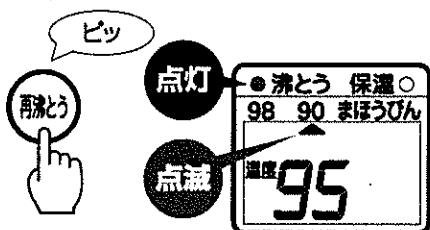
- ●カルキぬき終了の約2分前から水量表示計が点滅して、カルキぬき終了後は点灯し続けます。

※カルキぬきをすると、通常の沸とう時よりも蒸気の出る時間が長くなり、量も多くなります。
※湯温により水量表示計がすぐに点滅に切り換わる場合があります。

●高度浄水処理水の場合は、カルキがぬけにくくなります。この場合は、再度「カルキぬき」を行ってください。

8 再沸とうのしかた

保温中のお湯を、再び沸とうさせる機能です。
保温の状態で、[再沸とう]キーを1回押してください。「ピッ」と音がして、沸とう/カルキぬきランプが点灯、水量表示計が消灯し、▲マークが点灯から点滅に変わります。再沸とうが開始されます。

- ●再沸とうするまでの残時間と現在のお湯の温度(5℃きざみ)とを約10秒ごとに交互に表示します。
- ●再沸とう終了の約1分前から水量表示計が点滅して、再沸とう終了後は点灯し続けます。

●再沸とうさせるときは、給水マーク以上のお湯が入っていることを確認してから行ってください。

満水時、再沸とうに要する時間の目安
(節約再沸とう時)

98保温	約2分
90保温	約4分

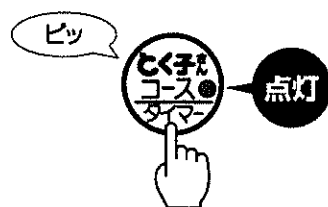
※水をつぎ足したり、プラグを差し込みなおしたときは、さらに約2分長くなり、蒸気が出る再沸とうになります。
※湯温により水量表示計がすぐに点滅に切り換わる場合があります。
※まほうびん保温中に再沸とうさせると、そのときの湯温により要する時間が異なります。

9 とく子さんコースの使いかた

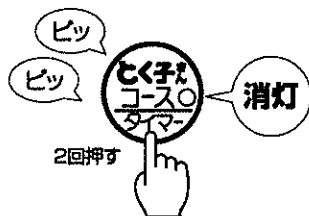
とく子さんコースを選択すると、過去の給湯状況を記憶して、2日目から使う時間帯（給湯した時間帯の間隔が3時間未満の範囲のとき）は設定した温度で保温（90保温または98保温）、使わない時間帯（給湯した時間帯の間隔が3時間以上のとき）は自動的にヒーターへの通電を切るまほうびん保温に切り換わりますので効果的に電気代が節約できます。

- とく子さんコースを選択してから最初の3日間は給湯状況の記憶の蓄積ができていないため効果的な節電ができません。4日目から効果的な省エネが行えます。
- 3日間のみの給湯状況を記憶し、それ以前のデータは消えてつねに新しく更新されていきます。
  プラグをはずして約10分以上たつと、過去3日間の給湯状況のデータが消えます。
  その後プラグを接続するとその時点から新しいデータが記憶されます。
- 実際に給湯したときだけを使う時間帯として記憶し、給湯とは関係のないその他の操作キーを押しても記憶されません。
- 休日などで使う状況が変わると使う時間帯にヒーターへの通電が切れていたり、使わない時間帯に湯わかししていることがあります。つねにデータは自動的に更新されていきます。
- とく子さんコースの省エネ効果は、ご家庭ごとの使用状況により異なります。
  使用時間が一定しているほど効果的な省エネが行えます。

とく子さんコースのセットのしかた

［とく子さんコース/タイマー］キーを押して、とく子さんコースランプを点灯させてください。

とく子さんコースを解除する場合

［とく子さんコース/タイマー］キーを2回押して解除します。とく子さんコースランプが消灯します。

- 湯温が低い場合は湯わかしを始めます。
- 水量表示計はとく子さんコースを解除したときの湯温や状況によって点灯、点滅あるいは消灯します。

- ［とく子さんコース／タイマー］キーを1回押すと節電タイマーの設定になりますので、液晶表示部で確認をしながら行ってください。

とく子さんコースを選択したときの省エネ効果は…

とく子さんコースをセットして、たとえば朝6時～8時の間、昼12時～13時30分の間、夕方18時～晩23時の間にのみ、それぞれ給湯を行った場合の平均保温電力は、とく子さんコースを選択していないで通電していたときと比較して「約16%」の節約ができます。（使わない時間が1日通算15時間30分の場合）
単身者もしくは共働き世帯風のご家族などで昼間使用しない場合にとく子さんコースをセットしておくと、（たとえば朝6時～8時の間、夕方18時～晩23時の間にのみ、それぞれ給湯を行った場合）平均保温電力は、とく子さんコースを選択していないで通電していたときと比較して「約21%」の節約ができます。（使わない時間が1日通算17時間の場合）

（3.0Lタイプ、90保温選択時、当社調べ）

使わない時間帯になると → 使う時間帯になると

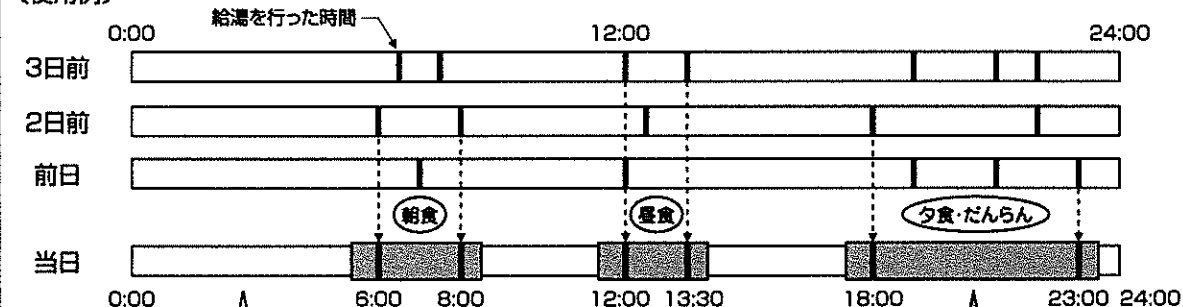
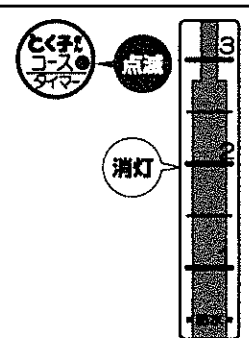
使わない時間帯になると

ヒーターへの通電が切れ、Wステンレス製まほうびんによって保温します。とく子さんコースランプは点滅、水量表示計は消灯します。

- 時間の経過とともに、湯温は徐々に下がります。またお湯の量が少ないときは湯温が早く下がります。
- 水をつぎ足したときは、自動的に湯わかしを行います。
- 使わない時間帯に［ロック解除］キーを押すと「ピー、ピー、ピー」と3回音がして水量表示計が同時に点滅します。次に給湯および、計量カップ機能を使っての電動給湯を行うと給湯中と給湯後の2分間は水量表示計が点灯、その後消灯します。追って湯わかしが始まり、お湯を沸かして約30分間保温をつづけた後ヒーターへの通電が切れます。エアー給湯を行っても湯わかしを同様に行います。

使う時間帯になると

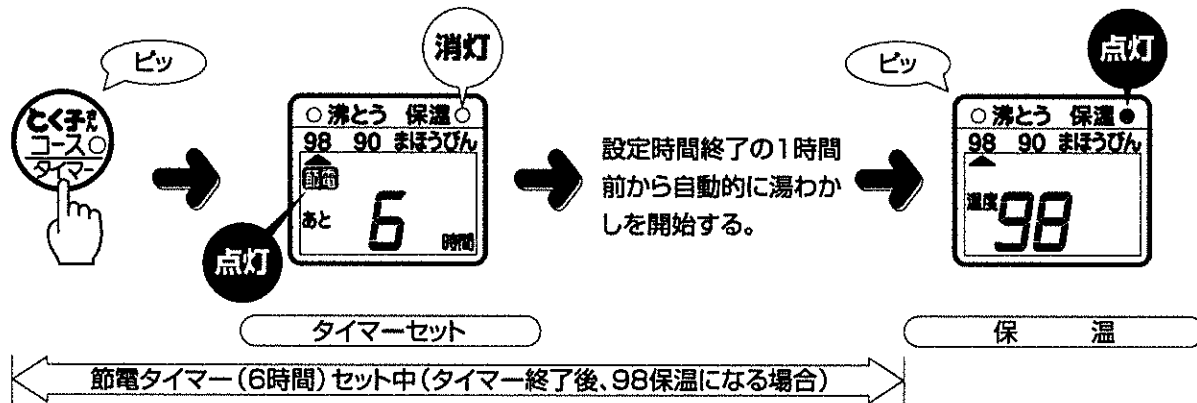
実際に使用する時間帯の約40分前から自動的に湯わかしを開始して保温し、お湯が使えます。使わない時間帯になっても約30分は保温を続け、その後使わない時間帯と判断してヒーターへの通電を切ります。使う時間帯のときは水量表示計は通常の（とく子さんコースを選択していないとき）1/2の光量で点灯します。

- とく子さんコースを選択していると、使わない時間帯から使う時間帯にかわるとき自動的に湯わかしを始めます。他の機器の電源が同じブレーカーに配線されている場合、同時に通電されるとブレーカーが落ちることがありますのでご注意ください。
- 通電中にとく子さんコースを選択して3日間1度も給湯を行わなかった場合、4日目には液晶表示部の表示がすべて消え、沸とう／カルキぬきランプ、保温ランプともに消灯、とく子さんコースランプのみが点滅したままとなり、ヒーターへの通電も切れた状態になります。
  このような状態になった場合は、いずれかの操作キーを押すと、湯わかしが始まり、その後通常の保温を続けます。とく子さんコースは解除されます。

10 節電タイマーの使いかた

お湯の沸く時間を、3時間後から1時間単位で12時間後まで設定できます。電気代が節約できます。

節電タイマーのセットのしかた

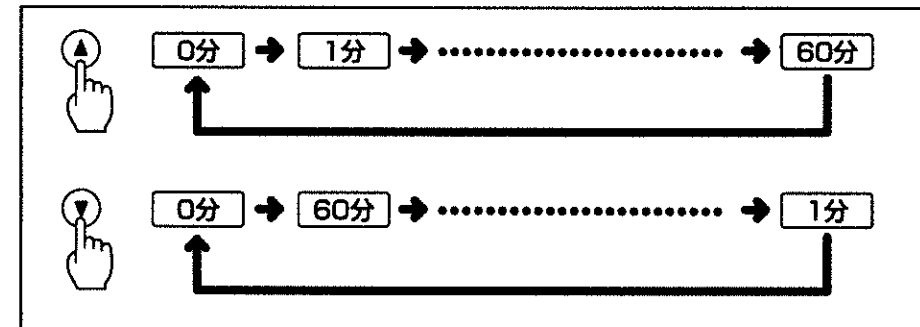
[とく子さんコース／タイマー] キーを押して、節電する時間（たとえば「あと6時間」）と[節電]マークを点灯させてください。

●始めに設定すると「あと6時間」が表示されますので [数値変更] キーを押して設定を変えてください。
3時間から12時間まで1時間単位で設定できます。
●沸とう/カルキぬきランプあるいは保温ランプが消灯して、節電タイマーがセットされます。
●節電タイマーが終了するまでの残時間を1時間きざみで、1時間を切ると1分単位で表示します。
●設定した時間の終了1時間前から湯わかしを開始します。
節電タイマーのセット中の水量表示計は消灯しています。

節電タイマーのセットを解除して、湯わかしをする場合

[とく子さんコース／タイマー]キーを1回押してから[再沸とう]キーを押し、沸とう/カルキぬきランプを点灯させてください。▲マークが点灯から点滅に変わり、湯わかしが開始されます。

●節電タイマーをセットすると電動給湯できません。とく子さんコースも解除されます。
キッチンタイマーも使えません。セット中のキッチンタイマーも解除されます。

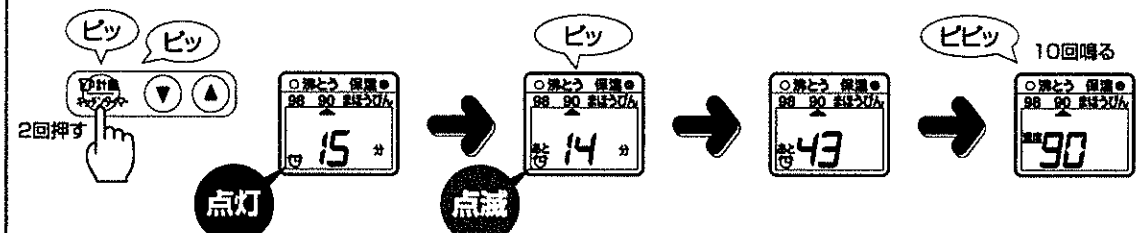
11 キッチンタイマーの使いかた

キッチンタイマーの設定は[数値変更]キーを1回押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ切り換わります。
1分から60分まで1分単位で設定できます。

キッチンタイマーのセットのしかたと作動について（例：15分にセットする場合、90保温時）

1 [計量/キッチンタイマー] キーを2回押してⓒマークと0分を点灯させる。

2 [数値変更] キーを押して設定する時間（15分）を点灯させる。

3 キッチンタイマーが終了するまでの残時間を1分前までは1分ごとに表示し、1分前を切ると秒単位で表示します。

4 設定した時間（15分後）になると、「ピピッ」と音が10回鳴って知らせます。水量表示計も点滅してお知らせします。

[数値変更] キーを押して設定時間が切り換わるごとに「ピッ」と音がして、設定時間を表示します。

キッチンタイマーを設定する前の表示にもどります。

キッチンタイマーを解除する場合

キッチンタイマーが「あと何分」と表示しているときに [数値変更] キーのどちらか一方を押すと、「ピッ、ピッ」と音が2回鳴って、キッチンタイマーが解除されます。またキッチンタイマーを使用中に節電タイマーを作動させると解除されます。

●キッチンタイマーは、節電タイマーの作動中は使用できません。

12 お手入れのしかた

●水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。
●丸洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
●お手入れするときは、プラグをはずし、残り湯を捨てて、本体が冷えてから行ってください。
●洗剤・シンナー・クレンザー・金属たわし・化学ぞうきん・ナイロンたわし・漂白剤などは使わないでください。
●食器洗い乾燥機、食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。

内容器のお手入れ

内容器の色むらや変色、水中の白い浮遊物について

内容器にできるサビのような赤いはん点、乳白色・黒色・虹色などの変色、白い浮遊物は、水に含まれるミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）の作用によるものです。内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、こまめにお手入れしてください。

①通常はメッシュフィルターをはずしてからスポンジで洗ってください。

●クレンザーやたわし類を使わないでください。フッ素加工面が傷み、汚れが落ちにくくなります。
●フッ素加工をしていても長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなったり、湯わかし中の音が大きくなったりしますので、こまめにお手入れしてください。
●カラだきによる変色はとれません。

②スポンジで洗っても落ちにくい汚れは、クエン酸（別売）で洗浄（2～3ヶ月に1回）してください。（23・24ページ参照）
クエン酸は当社の「電気ポット内容器洗浄用クエン酸」（品番:PKS-0120）をお使いください。

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を湯わかしした場合は、内容器にカルシウム分が付着しやすくなったり、また付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐ場合があります。故障の原因にもなりますのでよりこまめにお手入れしてください。

クエン酸を使っての内容器の洗浄のしかた

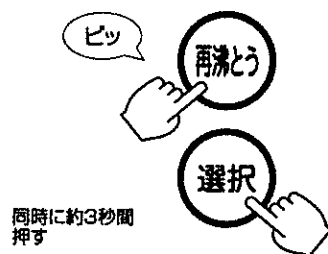
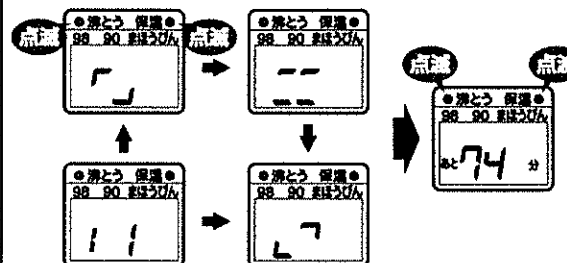
下記の内容を必ず守ってください。泡立ってお湯がふきこぼれたり、やけどのおそれがあります。
●お湯は入れないでください。必ず水から洗浄を行ってください。
●満水目盛以上の水を入れないでください。
●洗浄中は、上ぶたを開けないでください。

※クエン酸での洗浄中は、他の操作や機能は使えません。

1 メッシュフィルターは内容器に取りつけておく。

2 クエン酸約30g（大さじ2～3杯）を内容器に入れる。

3 満水目盛まで水を入れて混ぜ合わせ、上ぶたを閉める。

4 プラグを差し込み、選択キーと再沸とうキーを同時に約3秒間押し続ける。

「ピッ」と音がして、洗浄が開始されます。洗浄中は沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが点滅、液晶表示が下図のように移動して知らせます。その後洗浄の残時間の表示に切り換わります。
水量表示計は点滅し続けます。

●クエン酸洗浄中は、沸とうしますので蒸気にご注意ください。

洗浄時間は約1時間30分以内

5 洗浄が終わると「ピー、ピー…」と音が10回鳴り、沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが点灯した状態になります。液晶表示は下図のようになります。水量表示計はそのまま点滅し続けます。

6 ロック解除キーを押してから給湯キーを押してお湯を出し切って捨てる。汚れが残っている場合はスポンジでこすり落とし、水で充分すすぐ。
※汚れが落ちにくい場合は、水ですすいだ後、再度クエン酸と水を入れて同じ操作を行ってください。

7 クエン酸のにおいを取るため、水だけで再度通常通りにわかしてお湯を捨てる。

クエン酸は、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→28ページ参照）で、品番:PKS-0120「電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）」メーカー希望小売価格:400円（税別）とご指定のうえ、お問い合せください。（価格は2003年7月現在）
※内容器洗浄用クエン酸は食品添加物につき、食品衛生上無害です。

上ぶた・本体外側のお手入れ

よくしぼったふきんで汚れをふき取ってください。

メッシュフィルター

内容器からはずしてブラシなどでこまめに洗ってください。
目づまりするとお湯が出にくくなります。洗ったあとは必ず内容器に取りつけてください。

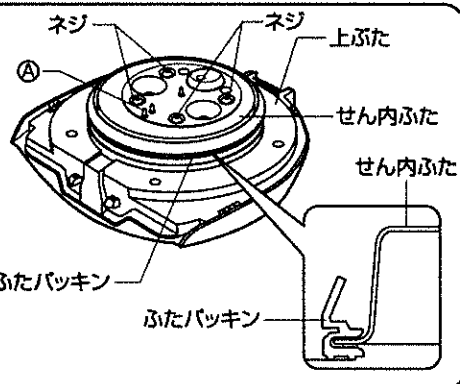
長期間ご使用にならないときは

上ぶた、本体、内容器などの汚れを落とし、乾いた布でふき、自然乾燥してください。（特に内容器は充分に）保管するときは、ポリ袋などで密封してゴキブリなどが入らないようにしてください。

13 消耗部品の取り替えについて

ふたパッキンおよびその他のパッキン類は消耗部品です。水質や使い方により異なりますが、ご使用にともない傷んできます。汚れや破損がひどくなったり、上ぶたのすき間から蒸気がもれだしたら、新しいふたパッキンと交換(有償)してください。

ふたパッキンのはずしかた

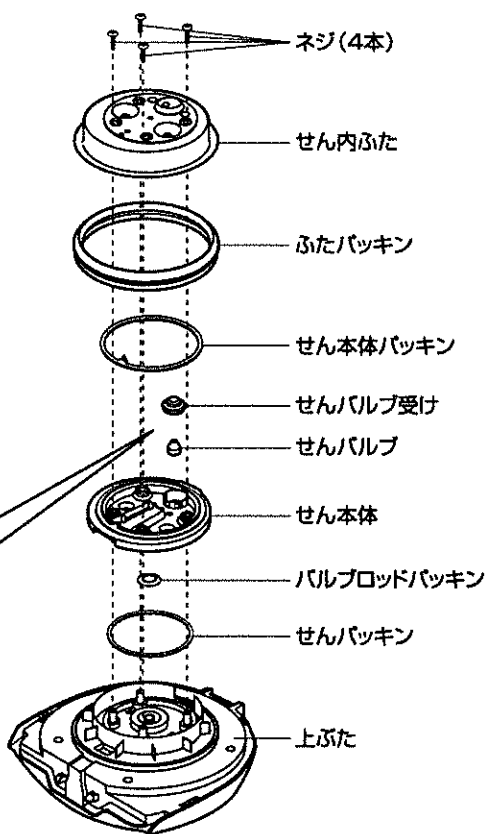
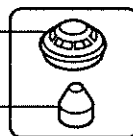
①4本のネジをゆるめる。
※ネジはゆるめるだけでせん内ふたを上ぶたからはずさないでください。完全にはずすとその他の部品がはずれるなどをして蒸気もれやお湯が出ない原因になります。
②ふたパッキンをはずす。

ふたパッキンのつけかた

①せん内ふた外周に、ふたパッキンを図の通りにきっちりと均等にはめ込む。
②最後にネジを確実に締めつける。

ネジ　Ⓐ　ネジ　上ぶた　せん内ふた　せん内ふた　ふたパッキン　ふたパッキン

ふたパッキンは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口(連絡先→28ページ参照)で、部品番号:PVB1042とご指定の上お問い合せください。
※ふたパッキンを交換しても不具合のときは、その他のパッキン類、成形品などが傷んでいる場合があります。内部のパッキン類、成形品の傷み具合はせん内ふたをはずさなくても上図のⒶの突起部が外観から見て傷んできたときがその交換の目安になります。
お問い合せの上ご相談ください。

樹脂成形品について

※熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

メッシュフィルター

内容器のクエン酸洗浄時に取りつけて洗浄しても汚れが取れない場合は交換してください。
交換用のメッシュフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口(連絡先→28ページ参照)で「タイガー電気ポット用交換用メッシュフィルター」部品番号:PVF1045メーカー希望小売価格:300円(税別)とご指定の上お問い合せください。　(価格は2003年7月現在)

引っぱるとはずれます。
取りつけは確実にまっすぐに差しこみます。

14 故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

こんなときは	ここを見て	こう処理してください	参照ページ
お湯がわかない。すべてのランプと、水量表示計がつかない。	●プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。 水量表示計は状況に応じて消灯します。	9
「ピー」と音がして、表示部のランプや液晶、水量表示計がすべて消えた。	●プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	9
沸とう/カルキぬきランプに切り替わらない。	●約80℃以上のお湯を入れていませんか。	少しさめたお湯か水を入れてください。	16
		(再沸とう)キーを押して沸とうさせてください。	18
	●まほうびん保温の設定(通電状態)にしていませんか。	(再沸とう)キーを押して沸とうさせてください。	17·18
お湯がぬるい。	●まほうびん保温の設定にしていませんか。	まほうびん保温の設定は、時間の経過とともに湯温が徐々に下がります。	17
	●とく子さんコースを選択していませんか。	過去3日間の給湯での使用時間帯を参考にして未使用時間帯と判断したときはヒーターへの通電を切ってまほうびん保温の状態になっています。(再沸とう)キーを押して沸とうさせてください。	19·20
	1杯目のお湯は水量表示計の水量管の中に入っているためぬるくなる場合があります。		
お湯がさめやすい。(まほうびん保温時)	●湯量が少なくありませんか。	湯量が少ない状態でまほうびん保温にすると、さめやすくなります。	17
お湯が出ない、出にくい。(電動給湯時)	●本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにしてください。傾けた状態で電動給湯するとお湯が出ない場合があります。	
	●プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	9
	●自動ロックになっていませんか。	(ロック解除)キーを1回押してください。 ロック解除ランプが点灯して、電動給湯ができます。	12·13
	●計量カップ機能を使っていませんか。	設定した量のお湯が出終わると(給湯)キーを押し続けていても給湯がとまります。	14
		沸とう直後の約3分間は計量カップ機能が使えません。	15
	●沸とう直後ではありませんか。	沸とう直後に電動給湯しますと、お湯が出にくくなることがあります。蒸気に注意して、一度上ぶたを開けてください。	13
	●内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れているとお湯が出にくくなることがあります。	内容器をクエン酸洗浄してください。	23·24
	●カラだきになりませんでしたか。	カラだきすると電動給湯できないようにロックされる場合があります。この場合は水を「給水」マーク以上まで入れてから(とく子さんコース/タイマー)キーと(選択)キーを同時に3秒以上押すと電動給湯ができるようになります。	
お湯が出ない、出にくい。(エアー給湯時)	●本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにしてください。傾けた状態でエアー給湯するとお湯が出ない場合があります。	
	●ふたパッキンがはずれたり、傷んだりしていませんか。	ふたパッキンを正しくつけなおす、または新しいふたパッキンと交換してください。	25
	●お湯がさめていませんか。または、量が減っていませんか。	お湯がさめたりお湯の量が減ってくると、エアー給湯したときに出る量が減ってきます。故障ではありません。	13

こんなときは	ここを見て	こう処理してください	参照ページ
お湯が自然に出る。	●水を「満水目盛」以上に入れていませんか。	「満水目盛」以内にしてください。	10
表示部がくもる。	水を捨て、通電せずにくもりがなくなるまで放置してください。		
お湯がにおう。	ご使用当初は、樹脂などのにおいがすることがあります。ご使用とともに少なくなります。		
	●水道水に含まれるカルキ(消毒用塩素)のにおいではありませんか。	「カルキぬき」でお湯をわかしてください。	18
	●ビニールシートなどの敷物の上で使用していませんか。	ビニールシートなどの敷物の上で使用すると、お湯に敷物のにおいが移ることがあります。	
水量表示計が点灯しない。	●湯わかし中ではありませんか。	湯わかし終了の1分前(カルキぬきの湯わかしなら終了の2分前)まで水量表示計は消灯しています。	11
	●とく子さんコースを選択していませんか。	とく子さんコースでの「使用しない時間帯」は水量表示計は消灯しています。	20
	●節電タイマーをセットしていませんか。	節電タイマーのセット中は水量表示計は消灯しています。	21
	●水量表示計を常時消灯するように操作していませんか。	(数値変更)キーの㋣と㋐を同時に約3秒間押し続けてください。	9
水量表示計の点灯が通常よりも暗い。	●通常での使用で保温選択をまほうびん保温にしていませんか。	まほうびん保温時は通常の1/2の光量で点灯します。	17
	●とく子さんコースを選択していませんか。	とく子さんコースでの「使う時間帯」は水量表示計は通常の1/2の光量で点灯します。	20
水量表示計が点滅する。	●お湯の量がおよそ半分以下になっていませんか。	水を入れてください。	16
	●沸とう終了1分前およびカルキぬき終了2分前から点滅をはじめます。		11·18
	●クエン酸洗浄中は点滅してお知らせします。		24
	●キッチンタイマー終了時は点滅してお知らせします。		22
勝手にお湯がわきはじめる。	●とく子さんコースを選択していませんか。	とく子さんコースでの「使う時間帯」になると、自動的にお湯をわかしはじめます。	19·20
いつもと違った時間にお湯がわきはじめる。(とく子さんコース選択時)	休日などで使う時間が変わると、その時間を記憶してデータを更新していきます。そのためわきはじめる時間が変わります。		19·20
内容器が汚れている。お湯に白い浮遊物が浮く。	●水に含まれるミネラル成分の作用によるもので内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。	内容器をクエン酸で洗浄してください。	23·24
湯わかし中に「ゴー」という音がする。	湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません		10
	●内容器が汚れていませんか。(内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。)	内容器をクエン酸で洗浄してください。	23·24
本体外側が熱い。	室温の高い部屋で保温を続けると、本体外側が熱くなることがあります。異常ではありません。		
電動給湯中に下図のように表示される。 --	●お湯がなくなっていませんか。	水を入れて湯わかししてください。。	13·16
	●沸とう直後ではありませんか。	蒸気に注意して、一度上ぶたを開けて閉めしばらくしてから再度給湯してください。	13
警告音とともに沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが交互に点滅して、下図のように表示される。同時に水量表示計が点滅する。 点滅 F2 点滅 / 点滅 C4 点滅	●カラまたはごく少量の水量で湯わかししていませんか。	プラグを抜き、水を「給水」マーク以上まで入れて、しばらくしてからプラグを差し込んでください。	10
	●お湯を使いきったまま長時間放置したり、給水するために上ぶたを開けたままで放置していませんか。		

こんなときは	ここを見て	こう処理してください	参照ページ
警告音とともに沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが交互に点滅して、下図のように表示される。同時に水量表示計が点滅する。 C1	本体が故障している場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。		

※樹脂成形品の一部に線状および波状の箇所が見える場合がありますが、これはウエルドラインおよびフローマーク(樹脂成形時に発生する線状および波状の跡)で、ご使用上の品質に支障はありません。

仕様

サイズ		3.0Lタイプ	4.0Lタイプ
容量(約)		3.0L	4.0L
電源		交流100V 50-60Hz	
消費電力	湯わかし電力	905W	905W
	90平均保温電力	18W	19W
	98平均保温電力	21W	22W
外形寸法(約)(とっ手を倒した状態)	幅	23.8cm	23.8cm
	奥行	29cm	29cm
	高さ	27.3cm	31.3cm
質量(約)(電源コードを含む)		3.2kg	3.5kg
温度ヒューズ		152℃	
コードの長さ		1.2m	
電動ポンプの定格(約)		1.5W	

●保温時の消費電力は、水量・満水、室温・20℃、電圧・交流100Vの場合の平均保温電力です。
●特定地域(高山(こうざん)・寒冷地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はお避けください。

沸とう時間・選択した保温温度になるまでの時間の目安

	3.0Lタイプ	4.0Lタイプ
沸とうするまで(98保温)	約23分	約29分
沸とうしてから90保温になるまで	約2時間20分	約2時間40分

(水量・満水、水温、室温・20℃、電圧・交流100V)